

COSMOS 第10回定例ミーティング

【1】コンセプトの確認

科博&都生研コラボ事業

一緒に学びを楽しむ場を
作りあげませんか？

発足からもうすぐ3年。

山藤さんのパッションでスタートしたコラボ事業も、

ミウラ折りの完成を迎え終了いたします。

今後は、パッションを引き継ぎながらも、

心機一転、

子どもだけでなく大人の探究の場として

リスタートします。

科博というワクワクのおもちゃ箱のような場で、

一緒に学びを楽しむ場を作りあげませんか？

プロジェクト立ち上げメンバーを募集します。

教員として自らが学び教材を開発するだけでなく、

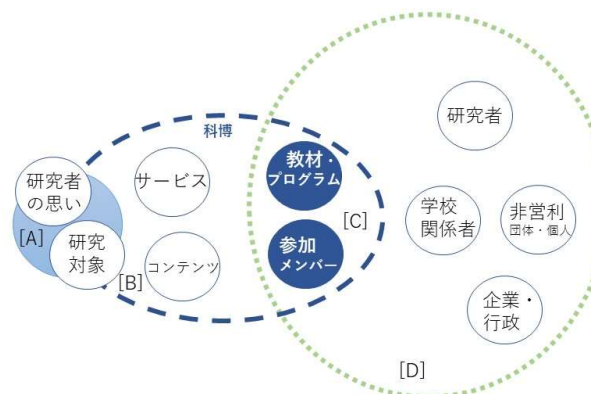
教員が学ぶ場の構築に携わりたい方、興味のある方の

参加をお待ちしております。

「なぜ、私たちはこの会に参加するのか？」

- ・科博がとにかく好き
- ・自分ひとりで限界を感じても、みんなで取り組みれば可能なことがある。
- ・他人の助けになりたい、応援するのが好き。
- ・教材を作ることによっていろいろな先生のためになる、貢献できる。
- ・このような場所に集まる皆さんとの活動が好き。
- ・通用門から入る感動・満足感等
- ・義務感や責任感
- ・活動そのものの楽しみ、科博のことを話す・共有する楽しみ
- ・博学連携のモデルタイプ
- ・科博のコンテンツの魅力を伝えたい、楽しみたい
- ・科博の持ち味を授業に生かしたい
- ・学びの場、柱がある場。
- ・楽しいから、コネや人とのつながり
- ・科学的な話を勉強している人と話せる
- ・資料保存論、博物館学が個人的な楽しみ
- ・倦怠期を乗り越える、初心を思い出す
- ・他人に思いを伝えるのが得意ではないから、仲介者となって実現する。
- ・酵素、触媒になる。

かはく で つなげる



[A] <研究者の思い>
科博の研究者

<研究対象>
フィールド（植物・鳥・海岸生物） 文化・歴史

[B] <サービス>
展示者の思い（工夫・プレゼン）
科博のボランティア 科博のイベント

<コンテンツ>
科博の自然物 科博の人工物 科学史
古人骨 標本 暮らしと科学のつながり

[C] <教材・プログラム>
ミウラ折 63の大疑問

<参加メンバー>
人脈 教員（自分） 私 今の参加者
友人教員 悩み

[D] <学校関係者>
大学・大学生 院内学級の生徒 保護者 教員
生徒（授業・部活・考える力・進路） 他府県の学校
未来のこの会の参加者 教育委員会 日生教

<非営利団体・個人>
自然環境保護活動などの人
動物園の教育係 応募者（大人・子供） 市民

<研究者>
学会 科博外の研究者

<企業・行政>
教科書会社 文部科学省 資金 リクルート
ベネッセ

【2】役割分担の検討

2018 年度

活動場所の手配	科博内の活動場所の予約，開錠・施錠
都生研との連絡調整・書類作成	(年間を通した活動) ・活動申請（5～6月）・活動報告（12～1月） ・都生研活動報告（3月） (派遣依頼を要する各ミーティング・イベント) ・派遣依頼文作成，役員メールへのお伺い ・文書発送のための
都生研メール配信	年6回くらい？
日程・企画調整	・実施日希望調査／決定、長尾様への依頼 ・WG 希望調査／決定，連絡 ・ミーティングの進行
記録・報告	活動の記録，報告書の作成
広報	ウェブ作成，FB・ツイッターでのお知らせ配信や活動の報告

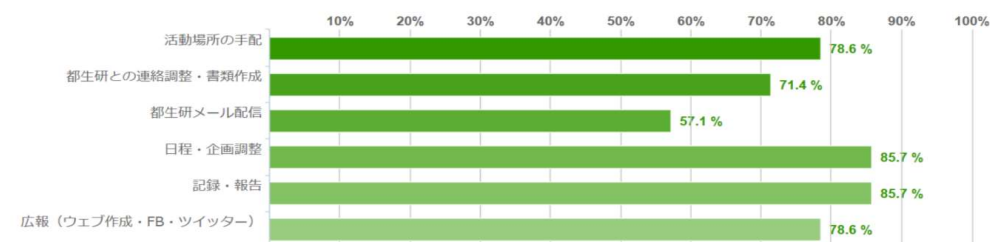
課題：

<運営に関するアンケート結果>

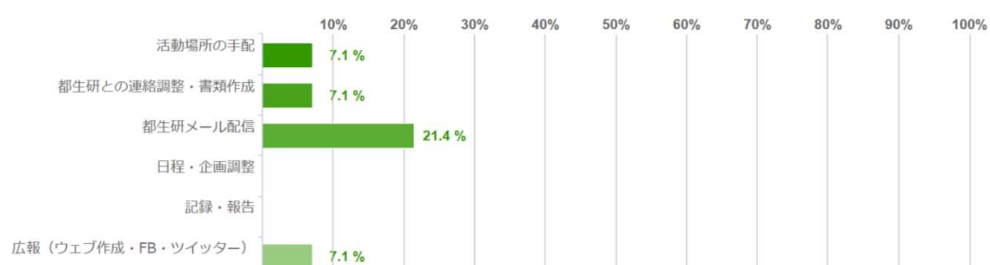
必要性を感じ、担当してみたい（回答数: 14）



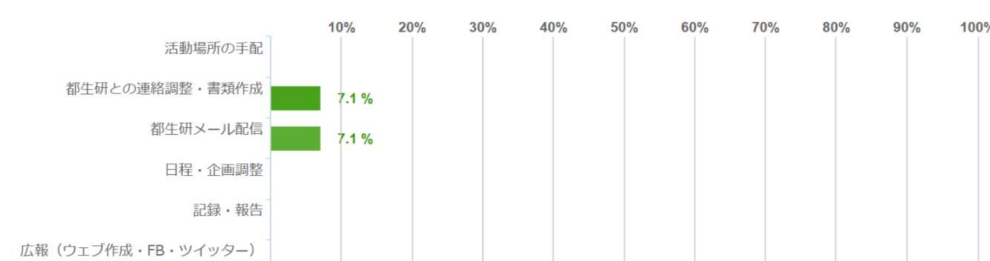
必要性を感じる（回答数: 14）



どちらでもない（回答数: 14）



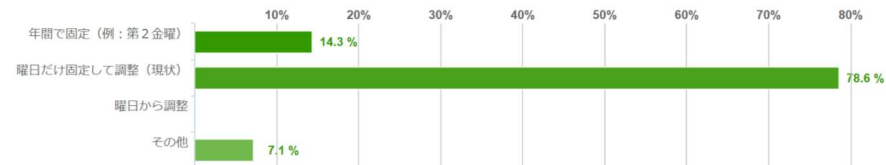
必要ない（回答数: 14）



【3】日程決定方法の検討

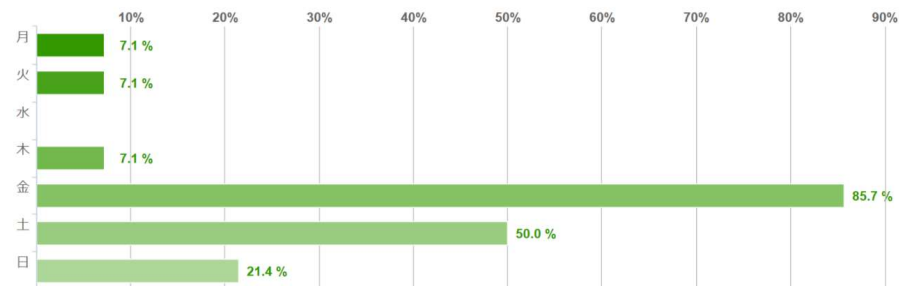
<実施日について>
調整方法について、適していると思われる方法をお選びください。
(回答数: 14)

ここにコメントが入力できます。



実施する曜日について、ご希望の曜日がありましたら選択してください(複数可)
(回答数: 14)

ここにコメントが入力できます。



【4】来年度のワーキンググループの確認

- 情報活用
- 科学史
- ワークシート
- 動物園と科学博物館
- 頭骨5姉妹ミニレプリカ教材商品化